

### 御影堂門仮設素屋根建設の様子を振り返ります



素屋根建設前の御影堂門と白洲



御影堂門の周りに素屋根の基礎が作られ、大型のクレーンが設置されました。



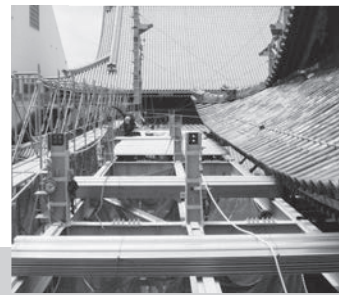
補助するクレーンとともに鉄骨の組み立てが始まりました。



一層目の組み立てが終わり、二層目の組み立てに取り掛かりました。



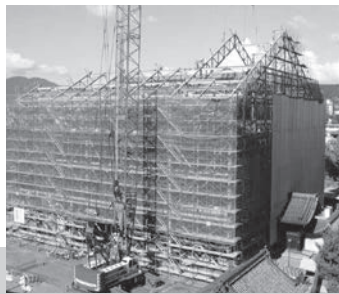
御影堂門ぎりぎりのところにも鉄骨を組みます。



いよいよ鉄骨の組み立てが佳境に入ってきました。



外壁や屋根面を付けていきます。



外側の足場を解体し、いよいよお披露目です。



御影堂門素屋根の完成



# 御修復のあゆみ

## 御影堂門仮設素屋根建設工事が完了し、通行可能になりました



さる四月から工事を行っていた御影堂門の仮設素屋根の建設が九月末をもって完成いたしました。今後、御修復工事が完了するまでの約三年間(二〇一五年末竣工予定)、阿弥陀堂とともに御影堂門は仮設素屋根に覆われることとなります。

このたびの仮設素屋根完成を受け、今後御影堂門の傷みの状況や修復方針について、より詳細に調査が行われ、二〇一三年より御修復工事に着工できるように準備が進められます。

仮設素屋根建設中は、安全のため御影堂前白洲内に仮囲いを設置、百二十トンの大型クレーンの設置や資材の荷さばき、仮組みを行う作業エリアを確保していた

め、御影堂前の白洲は車一台が通行できる幅しかないほど大幅に狭くなっていました。また、期間中は、御影堂門北側にある埋門(うづも)を通行いただくなど、参拝される皆さまには大変なご不便をおかけいたしておりましたが、このたびの素屋根完成にあたり、また再び御影堂門の下を通って境内にお入りいただけるようになりました。また、御影堂前白洲については、作業エリアを必要最小限にとどめるべく、仮囲いを移し、白洲を最大限確保いたしました。

今後、進捗によって、特に御影堂門御修復の専門工事の本格的な開始時(二〇一三年四月頃を予定)には、白洲の一部を作業エリアとして確保いたします。つきまして

は、御影堂門の通行に若干の支障が出る場合も予想されますが、安全には十分配慮しつつ、工事使用範囲を最小限に務めてまいります。引き続き皆様のご理解ご協力のほどお願いいたします。

